

議会だより

えりも

No.12

平成27年2月1日

12月定例町議会の概要	2P
一般質問 子育て支援について	3P
所管事務調査	8P

12月定例町議会

議件番号	議 件 名
報告第6号	定例出納検査の結果報告について
報告第7号	合同所管事務調査の結果報告について
議案第24号	手数料徴収条例の一部改正
議案第25号	道路占用料徴収条例及び普通河川管理条例の一部改正
議案第26号	スポーツ施設設置及び管理運営条例の一部改正
議案第27号	平成26年度一般会計予算の補正
議案第28号	平成26年度診療所特別会計予算の補正
議案第29号	平成26年度下水道特別会計予算の補正
承認第14号	所管事務調査

12月19日に第5回定例会が開催されました。定例会では条例の改正や予算の補正など、提出された議案を慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では6人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

平成26年度
予算の補正 等

一般管理費 11万円
公用車の燃料費及び修繕料の追加計上

財政管理費 6400万円
12月1日からふるさと納税寄附者に対し、お礼の品として町の特産品を送付する事業を開始。当初の見込みを大幅に超える寄付が集ったため、その関連経費を追加計上

庁舎管理費 9万円
事務用椅子購入経費

自治振興費 210万円
電気料金の再値上げに伴い

自治会防犯街路灯電気料の助成率の見直しを行い、自治会負担軽減を図る

高齢者対策費 302万円
1世帯1万2000円を上

限に暖房燃料費を助成する高齢者世帯等への福祉灯油事業

常設保育所運営費 138万円
保育所入所児童増に伴う臨時職員の賃金等

乳幼児等医療扶助費 306万円
乳幼児や重度心身障害者に係る医療扶助費の追加計上

風の館管理運営費 21万円
消防設備用のバッテリー交換に要する経費の追加計上

車両管理費 30万円
スクールバスの修繕料及び今年度建築の車庫管理経費の追加計上

社会教育振興費 24万円
放課後児童クラブ指導員の賃金に不足が見込まれることの追加計上

体育施設費 3420万円
温水プールの解体に要する費用及び地下タンクの燃料を抜き取るための経費

北海道えりも町
第1位
23968.81%
えりも町が急上昇1位!



ふるさと納税「ふるさとチョイス」においてPV急上昇ランキング1位を獲得

風車の状況と今後の見通しについて
平成12年3月から発電を開始したえりも小学校風車の定期メンテナンスにおいてメンテナンスの不良を認め、今年度及び今後の修繕に7000万円の費用が必要になるとの試算。耐用年数は17年とされていたが、修繕は行わず、解体に向けて検討を開始する。

町営プールの解体について
12月の低気圧において温水プールの壁面が一部破損。内部の鉄骨に腐食が確認され、修繕に多額の費用がかかるとの試算を受け、解体を決定。現在、自衛隊プール使用について交渉中。今後のプールのあり方については複合施設計画の中で検討。

ふるさと納税について
ふるさと納税が好調であり、1月26日現在で8552件、1億7972万円の寄付金が増え続けており、お礼の品40件中10数件が品切れとなっている状況。

ふるさと納税が好調であり、1月26日現在で8552件、1億7972万円の寄付金が増え続けており、お礼の品40件中10数件が品切れとなっている状況。

議員と語る会で出された要望に関する町の取組状況について

平成26年9月19日付で議
会から提出された第3回「議
員と語る会」における要望書
の5件の意見・要望について
担当課による対応等の説明が
ありました。

②老朽化した空き家の飛散防
止と空き家とならないための
不動産情報の集約と提供
(企画課)

・現在空き家情報を収集し、
町広報で情報を発信してい
る。

・今後は町ホームページへの
掲載や、掲載情報の拡充等も
検討していきたい。

③各地区の公営住宅・教員住
宅の計画的な補修と建替えに
よる住環境の整備
(建設水道課・学校教育課)

・平成27年度に整備補修計
画の見直しを行い、平成28
年度から順次整備を進めてい
く。

①エゾシカ減少対策と農地や
干場への侵入を防ぐための対
策の継続と強化
(産業振興課)

・年2回エゾシカ防護柵全体
の見回りを行い、破れた箇所
や報告のあった箇所はその都
度修繕を行っている。

・住宅地周辺や放牧地など比
較的銃器による捕獲が不可能
な場所へ逃げ込んでいるエゾ
シカの集中駆除を行う。

④アベヤキ川の魚道整備と土
砂の搬出
(建設水道課)

・引き続き道に対して要望を
行う。

⑤近浦・目黒地区の越波対策
(建設水道課)

・引き続き関係機関に対し要
望を行う。

一般質問

上野勝廣議員



子育て

問 わが町の出生率が高い要因は

答 昆布漁等のお陰で比較的生活が安定している

問

上野議員 合計特殊
出生率が、道内の市町
村の中で、えりも町が
1番高い1.90と報道されまし
た。出生数の低下や人口の流出
は、まちの衰退・存続が危ぶま
れる訳でありますので、今こそ
「皆で子育て支援」を、町行政
として特色ある政策を積極的
に進めなければならぬと思
われ、次の3点について質問し
ます。

答

町長 ①えりも町の
主産業である昆布漁
は、水揚げ量にあまり
変動がなく、水揚げ高もある
程度安定し、また、安心して働
けるよう家庭を側面から支援
する対策も成果として出してい
る要因ではないかと考えており
ます。一方、昆布が安定してい
るといふことで、漁期中にはサ
ラリーマン家庭の奥さん方も容
易に職に就くことができます
し、えりも町の企業にも安定的
に働ける場所を提供いただい

③1世帯3名以上の場合、学
校給食費1人分に相当する何
らかの支援策はできないか。

③給食未実施校の弁当を持
たせている家庭との均衡を図る
ことが課題としてあげられま
す。養育の児童生徒数を重視
した施策も含め、子育て支援
という観点から、町長部局と
も協議して検討したいと考えて
おります。

おりますので、このような条件
がそろい、1.90という率を示
しているものと受けとめており
ます。

学校教育課長 ②町内で1世
帯3名以上の世帯は、本年12
月12日現在で20世帯です。

町の施策として「えりも町準
要保護児童生徒就学援助事
業」を行っており、家庭として
経済的理由により就学困難な
児童・生徒がいる場合に、学校
給食費、修学旅行費、学用品
等の全額を補助しています。現
在、町全体では15世帯について
支援をしており、その中に1世
帯3名以上の家庭も含まれて
おります。



町民の生活を支える昆布漁

高松亮裕議員



地域交通

問 ハイヤー再開の目処はついたのか

答 いまだ乗務員の募集が難航している

問 高松議員 9月15日にハイヤーの営業時間が変更になってから3か月が経つが、いまだに再開されていない。

答 この間、募集に応じた人はいたのか。また、採用に至らなかった原因は何か。ハイヤー会社の募集を待つばかりでなく、町として、対応すべきことがあると思うが考えを伺いたい。

答 企画課長 タクシー事業は、高齢化が進む中で、将来的にも町内の公共交通機関として非常に重要な役割があるとの考えから、会社側と乗務員の募集状況の確認や町の支援策等の提案をしてきました。

乗務員の募集状況については、正社員の募集に対する応募は全くないことから、アルバイ



予約制が続く日交ハイヤー乗り場営業所

いる状況を聞いていますので、安定した経営のために、送迎業務の一部委託等の提示を行っております。

会社としても、年内に方針をまとめたことと、現在、会社側の回答を待っているとこ

町長 私自身も、再開に向けて会社側に提案してきましたけれども、なかなか実現できていない。町民からも「何とかしてくれ」という声が高まっていますので、近いうちに、直に会社側と具体的によく話をしたい。

診療所

問 診療所の強風対策の進展状況は

答 塀設置は難しく職員による介助等に対応したい

問 高松議員 昨年12月の一般質問で、診療所駐車場の強風対策について、塀の設置を要望した

が、進展はあるのか。

他の公共施設と違って、病気を抱える患者さんが通う「診療所」という特殊性を考えれば、たとえ強風によつてこわい目にあつたという人が少数であつても、それを排除してあげることが重要だと考える。

工法上の問題や弊害が起る可能性があることもわかるが、まずは、町民特に高齢者などのように感じているのかを把握することが必要だと思

答 診療所事務長 昨年、町内業者と相談した結果、塀の設置は、難しいということで、札幌の設計コンサルタントに相談したところ、まず、測定器による風力、風向の測定をして、2、3年のデータ収集が必要なこと。風速50mに対応できる建築基準を満たすこと。

また、降雪や吹きだまりの状況についても調査が必要であるが、防雪柵を設置することで、道路側に吹きだまりができる可能性が非常に高いということ

であります。

このような状況でありますので、強風時には、会計窓口での

声かけや、職員による駐車場や調剤薬局への送迎等で患者さんの負担を少しでも軽減するよう努力してまいりたい。

町長 町民との対話の会も開いているが、そういう声は聞いていない。塀を設置することによる弊害(交通上の問題や駐車場が狭くなる等)が大きすぎる。

現在の診療所の体制の中で、何とか患者さんに手助けをして誠意を尽くしていくことが今一番良い道ではないかと考え、塀を建てることについては、考えの中にあることをはつきり申し上げておきたい。



強風時には高齢者にとって危険箇所となる診療所前



韓国に変わる渡航先として人気の台湾

② グローバル化に伴い、高の昆布や魚はとも注目を集めています。
そこで、高校2年生の修学旅行の日程において、京都駅周辺で実施される昆布配布のような日程を海外研修においても企画し、えりも観光大使の

台湾は、とても親日として有名であり、2013年度の訪日外国人来道者数は1位で、41万5600人が北海道を訪れています。
本年5月には「日高地域日台親善協会」が設立され10月には日高管内7町の訪問団が台湾を訪問しました。

① このような国際情勢の背景の中で海外研修とはなにか、韓国海外研修の意義とは何か、お伺いしたい。

近藤議員 えりも
高校海外研修は、平成3年より全日制課程開設にあたって、二門口早期実現への期待を込めた施策として実施され、今年で23回目を迎える。韓国海外研修を実施してから20数年が経ち、時代は変化し特にアジア情勢は、国家間、人、モノすべてにおいて急激に変化している。

近藤一郎議員



学校教育

問 海外研修を親日国である台湾に変更できないか

答 研修場所については今後慎重に議論を進めたい

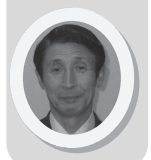
ようなPR活動をしてみては。

答 教育長 ①近年、国際化の進展に伴い世界の中の日本人の育成の観点から求められているところであり、日本人としての役割の自覚や、物の見方、考え方の基礎を培うこと、外国の文化を理解・尊重する基本的な資質を養う機会と言えます。

えりも
高校の韓国海外研修については、姉妹提携校との交流とは別に、韓国と北朝鮮の平和問題、残留日本人への慰問は、ボランティア精神と日韓の歴史を一層理解する契機となると考えます。

② 第2学年の修学旅行で行い、さらに海外研修でもPR活動となると、実施時期にかわつて進路決定等の時期と重なることもあり生徒の負担が大きいというような課題が学校側としてあります。
教育委員会としては、韓国海外研修について様々な意見もあることから、今後の研修場所も含めて慎重に結論を出してまいりたいと考えておりますので、ご理解ください。

大坂庄吉議員



行政改革

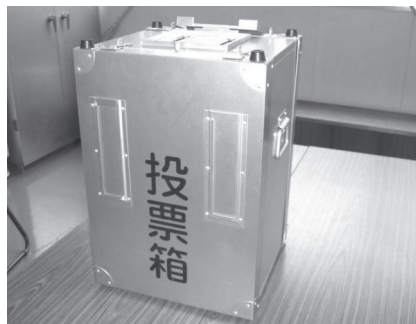
問 平日投票で経費削減を行えないか

答 現在の職員数では通常業務に支障が出る

大坂議員 近年、期日前投票制度により投票所に行けない人も投票することができることから、投票者が年々増えていると思えます。経費削減効果をかんがみて、今後の町政選挙のあり方についてお伺いをいたします。

① 投票時間について。期日前投票は午前8時30分から午後8時まで、選挙当日は、午前7時から午後7時までとなっていますが、終了時間の見直しや開票時間の見直しも必要と思うかがお考えか。

② 開票場では具体的に職員は何人必要か。
③ 町政選挙を平日投票で実施を想定した場合、各担当課での職員負担の懸念



投票率の向上と経費削減の両立を

答 総務課長 ① 期日前投票における投票所の開閉時間は、公職選挙法に期日前投票場が1か所の場合は、「午前8時30分に開き、午後8時に閉じる」と規定さ

は、公職選挙法に期日前投票場が1か所の場合は、「午前8時30分に開き、午後8時に閉じる」と規定さ

れておりますので、市町村等の選挙管理委員会が任意に時間を変更することはできません。

投票日における投票場は「午前7時に開き、午後8時に閉じる」と規定されており、しかし、「選挙人の投票に支障をきたさない」と認められる特別の事情がある場合は投票場の開閉時間を繰り上げもしくは繰り下げることができると規定されております。

そこで、平成22年2月開催の選挙管理委員会、閉鎖時間の繰り上げと期日前投票制度をあわせて有権者に周知徹底を図ることにより、有権者の投票には支障をきたさないと考えられたことから、全投票場において閉鎖時刻を1時間繰り上げております。

②前回の選挙では投票事務のさらなる簡素化に取り組み、事務従事者数39名で選挙事務をしたところであり、効率的で迅速な投票事務を進めるには、現在の体制が適正であると考えます。

③国保診療所、各保育所、えりも高校を除く職員数は87名であります。全体

で職員の4割以上が選挙事務に従事することになり、平日の投票票は通常どおりの役場の業務を行うこと

について支障が出るのではないかと考えるところであります。

石川昭彦議員



子育て

保育料の負担軽減を

現在管内で最も安い保育料となっている

問

石川議員 現在の保育料は兄弟で同時入所時のみ、第2子が半額、第3子が10分の1となっているが、これでは年齢の離れた兄弟には全く適用されないことになる。

子育て支援として同時入所だけでなくとも2子3子に対して減免の措置をするべきではないか。

答

町民生活課長 町内の保育料は平成8年以來改定をせず、管内で最も安い保育料となっております。また、認可保育所であることからその運営については国や道の



兄弟が多い家庭に対する子育て支援は十分とは言えない

子育て

新生児の出生数に町として目標を

出生数の目標までは差し控えたい

問

石川議員 子供の数が減るといふことは町の将来に大きな影響があるのと言うまでもなく、行政の各分野や産業の衰退にも大きく関わることだと思われる。そこで町として出生数の目標を持ち、政策を組み上げてはどうか。

子供を増やすには、若い人たちが定住し、生活できる仕事が必要となり、結婚できる環境や子育て支援、保育や学校教育の充実、医療やインフラの整備など様々な課題が見えてくるのではないか。

答

町長 人口の減少が産業や社会保障などに及ぼすことになることについては、私も相当の危機感を持っております。

地方創世会議が発表した人口減少の数字をそのまま受け取るとは出来ません



出生数を上げるための具体的な政策議論が必要

が、えりも町も他町に比べれば緩やかではありませんが人口は確実に減少しております。その対策は多岐にわたります。今までも子育て支援や医療の充実、婚活支援、産業の振興などを考えながら政策を進めてきましたが、更に国や道の政策を見極めながら地域住民が安心して暮らせるまちづくりをしてまいりたいと思っております。

出生数の目標については道義的に議論もあるところであり今のところ差し控えたいと考えております。

手塚裕警議員



学校教育

ICT教育の推進を

中長期的な計画の中で鋭意進めたい

問 手塚議員 全国学習状況調査の結果が発表されたが、

若干の改善は見られたものの、依然として当町の学力は危機的状況にあることに変わりはない。今後有効と思われる方法を模索し学力の向上に努めなければならない。

ICT教育のメリットとしては学習への興味・関心や集中力がわく。授業の理解度が上がる。21世紀型スキルである情報収集能力が身につく等が挙げられている。

タブレット端末による授業は全国的に広がりつつあり、児童生徒全員に配布する自治体も現れてきている。

ICT教育が加速する中、当町の考え方を伺いたい。

※ICT (Information and Communications Technology)

答 教育長 議員質問の当町におけるICT教育、いわゆるコンピュータやネットワークでの情報処理や情報通信教育は、これまで各学校の数量に差はありますが、徐々に整備し、現在、パソコン180台、プリンター43台、電子黒板5台、実物投影機19台、その他等配置され、今求められている教育の情報化に対応するよう鋭意進めているところであります。

議員ご提案のタブレット端末をいかした共有機器は、今日求められる指導の流行の部分としての機器であり、これから求められる授業スタイルに対応するものと認識しているところであります。

その中において、私としては道教委からも積極的な購入が進められている安価で授業効果に有効な「実物投影機」の

配置を最優先したいと考えており、本年度は小学校6台、中学校2台を購入し、更に平成27年度には、残り全ての学級に固定的に設置できるように財政当局にお願いをして、より充実した学びの環境づくりを図って参りたいと考えております。

したがって、議員推薦のタブレット端末に係る無線LAN等の通信環境の整備については、機器購入や校内改装に多額の予算計上が求められることから、今後、中・長期的な見地から検討する必要がありますので、ご理解をいただきたいと思います。



全国で広がりつつあるタブレットを使った授業

子育て

出生率1位を活かし子育て先進地を目標に

組織づくりも含めて他自治体に学びたい

問 手塚議員 えりも町の出生率は1.9で北海道で1位という報道がなされてから様々なところで話題に登っている。

① 今後はさらにそれを推し進め、出生率1位ということを活かし、子育て先進地を目指してはどうか。

② 出生率向上と定住促進には、結婚から育児そして教育までを総合的に支援できる環境づくりが望ましい。各課ごとではなく、横断的、総合的な少子化対策や過疎化対策のプロジェクトチームが必要と考えるが、どうか。

答 町長 ① 注目したいのは出生の順位の割合でございます。第1子で生まれた割合は、全国、全道と比較しますとえりも町は低位にございます。しかしながら第2子以降については、高くなっております。

いかにその第2子以降が、えりも町の特出生率を押し上げていく必要があるかと考えています。

出生順位の割合 (単位：%)

	全国	全道	当町
第1子	47.4	47.6	36.4
第2子	36.4	35.5	40.8
第3子	16.2	16.8	22.4

りも町の特出生率を押し上げていく必要があるかと考えています。

② 岩手県の西和賀町役場で、メンバー全員が女子職員だけのプロジェクトチームを発足させまして、子育て、過疎の問題、定住の問題、雇用の問題を検討させているというところであります。

調査

調査日：平成26年10月31日（金）

総務文教常任委員会

委員長 川村 一治 副委員長 平野 正男

委員 笹谷 廣喜 高松 亮裕

産業民生常任委員会

委員長 上野 勝廣 副委員長 大坂 庄吉

委員 成田 一人 手塚 裕警 近藤 一郎

議長 渡部 泰

庶野さくら公園

公衆トイレ建設工事

本事業は、頑張る地域交付金を受けて建設する予定の事業であり、工期は平成27年1月30日までとなっている。木造平屋建て、延べ床面積が20・87㎡で、男子トイレには小便器が1基、大便器が1基、女子トイレには大便器が1基、多目的トイレには大便器が1基設置されることとなる。

また、不特定多数の方が利用するため、電気等の消し忘れを防ぐ対策として、スイッチ類を配置しないソーラータイマー式の人感センサーとするほか、臭気等の発生を抑制する水洗便器の施工、車いす利用者が本施設までスムーズに往来できるよう道路からトイレ入口までを舗装とするなど、利用者にとって十分配慮された設計となっている。

なお、女子の大便器が1基しかないのは少ないように思われるが、多目的トイレを利用できること、また、庶野さくら公園は常時込み合うという場所でもなく、混雑が予想



新しくなったさくら公園公衆トイレ

百人浜パークゴルフ場の

管理状況

本施設のコース状態（芝の悪さ）に関する利用者からの指摘を受け、担当課から維持管理委託の状況等について説明を受けた。

本施設の維持管理業務は、平成9年のオープン当初から、ひだか南森林組合に委託しており、本年7月に実施した専門家による芝の調査結果によると、芝は経年により土壌の固結や枯れた根、茎、葉の堆積が進み、徐々に老化していくものであるが、設置から15年以上経過しているわりには維持できている状態と診断されている。担当課の説明では、7月に行ったエアレーション作業の後、降雨量が少なかったことが影響し、一時的に芝の状態が悪くなったということである。

芝の老化を防ぐ対策として、エアレーション作業に加えて、来年度からは新たに目土の散布を予定しているようであるが、今年度における芝の維持管理に関する問題点の検証や改善点の対策等について



経年劣化するパークゴルフ場の芝

でも十分協議をしていただき、次年度以降シーズンを通して最良の芝状態でプレーできるよう対処願いたい。また、コース内の樹木について、以前ほどの手入れが施されていないように見受けられ、担当課におけるチェック体制を強化するとともに、委託業者に対する適切な剪定作業の実施について指導の徹底を図りたい。

務事管所

スクールバス・建設機械 車庫新築工事



大型車5台が収容可能な車庫

本事業は、地域の元気臨時交付金を原資として積み立てた基金等を活用し、建設除雪機械のショベルローダー1台とスクールバス4台分の車庫を整備する事業である。

構造は、鉄骨造の平屋建て、延べ床面積が311.19㎡、床は土間コンクリート、外壁は角波カラーガルバリウム鋼板、屋根はカラーガルバリウム鋼板の折板葺き、出入口はオーバースライダで車庫内部に水洗トイレが1基設置される。

現在のところ車庫周辺の舗装計画はないようであるが、車庫等の維持管理を図る上からも、将来的な計画として舗装の実施について検討された。

浄化センター

本施設は、平成14年3月供用開始から現在に至るまで、特に大きな故障や破損等もなく順調に稼働しているという説明を受け、安定的に水質が確保されている現状を確認できた。

しかし、電気計装設備等については10年以上が経過しており、今後、故障等の発生頻度が高まることが予想され、突発的な運転停止という事態を防ぐためにも点検・調査をより一層充実させ、長寿命化を図りながら、計画的な



浄化センター内部の様子

施設の維持更新等について万全を期していただきたい。

また、東北地方太平洋沖地震による津波発生の際に一部浸水のあった本町中継ポンプ所について、その後の防水対策の実施状況等についても調査した。

ポンプ本体は、地下のマンホールに入っており被害はなかったようであるが、マンホールの蓋が鎖で固定され、より外れにくくされていた。

電気室については、窓から海水や泥が若干入り込んでおり、その防止策として窓全体がコンクリートで完全にふさがれていた。

比較的低い位置にある自家発電機用の吸排気口はふさがることができないため、そこからの浸水が心配されるところではあるが、現段階で対応可能な防水策は実施されていたように思われる。

なお、万が一ポンプが動かなくなつた場合、最終的には低い位置にあるマンホールから汚水が流れ出ることとなり、下水処理機能が麻痺することから、発電車等電力供給の確保や汚水の吸引作業など緊急時の際には迅速かつ適切に対応できるよう徹底を図りたい。



3.11の際、浸水のあった本町ポンプ所

この人に聞く

えりも町保健福祉課

保健師

中野 知子

さとこ



釧路市出身。帯広高等看護学院卒。平成9年4月からえりも町に勤務。えりも岬在住。夫と2男1女の母。

：札幌で看護師として勤務された後、学校に入り直して保健師の資格を取り、えりも町に来たそうですが、その経緯は？

看護の仕事に就いたのは、就職に困らないようにと母の勧めがあったことが大きいです。保健師の資格も若い内に取れるという思いからでした。

えりも町には学校の先輩がいましたし学院の勧めもあって就職しました。

：えりもに住んでみた感想は？

真ツブの刺身が美味しくて感動したことと人の繋がりがとても強いと思いました。

もともとえりもの人たちは観光客や自衛隊を受け入れてきたせいか、外から来た私にも、とても親切にしてくださいました。今は感謝の気持ちです。風は強いですが、それ以上にえりもの人たちは暖かいです。

：これからやりたいこと

子ども達が野球をしてるので今年は札幌ドームで日ハムの試合を観戦

したいと思っています。

：町民にメッセージがあればお願いします。

えりもの人達はとても良く働いていると思います。だからこそ元気で生き生きしてほしいと思います。

今はえりもに住んで本当に良かったと思っていますので、自分の持っている知識や技術が町の人の健康を守ることに少しでも役に立てばと思っています。

皆さんもっと検診を受けましょう！
(取材・石川)

編集後記

昆布豊漁、出生率全道1位、ふるさと納税好調、スケソウ大漁と、景気の良い話題が続いているわが町であります。地方の疲弊が叫ばれる昨今にあって、えりも町はまだ恵まれている方なのかもしれません。

政府が最優先施策に掲げた「地方創生」もこれから本格化してまいります。

一時的なバラマキに終わるのか、地域活性化の起爆剤になるのかは、地方自治体の勇気とアイデア、そして何より、「民間の活力」にかかっています。

町民ひとりびとりの思い描く未来が希望に満ちたものでありますように。そして、平成27年も良き年になりますことを心よりご祈念申し上げます。
(手塚)

議会の動き

- 11月26日 子ども議会
- 11月28日 全員協議会 第4回臨時会
- 12月12日 議会運営委員会
- 12月19日 全員協議会 第5回定例会 広報特別委員会
- 12月24日 消防組合議会 衛生組合議会
- 1月11日 広報特別委員会
- 1月20日 広報特別委員会
- 1月26日 広報特別委員会



えりも町のホームページがリニューアルされました!

えりも町 海と大地のふるさと
<http://www.town.erimo.lg.jp/>

風の町えりも観光ナビ
<http://www.town.erimo.lg.jp/kankou/>

えりも

検索

議会広報特別委員会委員

委員長 石川昭彦
副委員長 高松亮吉

委員 大塚裕喜
委員 笹谷廣